

平成 26 年度 第 2 回 FD 研修会

日時：平成 26 年 9 月 29 日（月）16:30～18:00

場所：講義棟大講義室

質疑応答の記録（17:40～18:00）

Q.1)

講演の中で、インターンシップの時期の長期化が語られたが、採用選考の対象となる等、インターンシップの質は変わってくるのか？

A.1)

表向きは別としても、採用を意識したインターンシップが増えることは間違いない。学生の取り組み方によって優劣をつけられることも想定される。インターンシップに臨む学生には、受け入れ側にそうした意図があることをきちんと意識させて、マナーを含めた取り組みの姿勢や態度にも十分に留意させるべき。（マイナビ柳井氏）

Q.2)

全国的には、インターンシップにどのくらいの割合の学生が参加しているのか？

A.2)

- ・様々なインターンシップの期間（1 日～2 週間程度）のものを含めて、2 割程度。（マイナビ）
- ・畜大では、単位認定を受けている学生数でいえば、1 学年 30 名程度。ただし、実際はもう少しいる。（柳川就職支援室長）

Q.3)

就職活動が 3 ヶ月、後ろ倒しになることで、採用試験が土日に行われる等の対応は、想定されるか？

A.3)

企業側は、“学生は最終学年までに単位をほぼ取り終えている”という認識でいるため、平日に採用試験が行われる状況は、変わらないと思われる。単位はしっかりと取得することが必要。（マイナビ）

Q.4)

講演の中で、「採用試験の日程変更の申し出は遠慮しなくともよい」との発言がなされたが、日程変更の申し出は、学生以外の授業担当者や就職支援担当者が行った方がよいのか？

A.4)

学生本人の連絡で大丈夫。（マイナビ）

Q.5)

本学での公務員試験への対応は、どのようになされているか。

A.5)

- ・就職支援室では、試験の周知なども行っている。ただし、試験は個別分野に分かれているため、学生の受験分野への適性等の個別の内容は、ユニットやゼミの先生におまかせしている。（就職支援室長）
- ・土木分野の学生の就職先の 6 割は公務員。5 月はじめから試験が始まるため、ユニットに入る時に、民間企業就職か公務員になるかを決めさせている。公務員志望の学生には、研究室配属時から公務員試験の勉強を始めさせる。民間企業の就活をしていたら受からないので、就活はさせない。公務員試験の対策をしっかり行っていれば、ほぼ全員合格できる。関係する受験資料も準備してある。（辻教授）

Q.6)

本日示されていた企業アンケートの結果に対して、「普通」回答への評価はどうとらえているか。

A.6)

“良くはない”ととらえた方がよろしいと思われる。（就職支援室長）

Q.7)

経団連「採用選考に関する指針」に則って就職活動を後ろ倒しにするという、いわゆる“紳士協定”は、守られるのか？

A.7)

経団連に加盟していない中小企業などをはじめとして、大多数は、反して、早めから動くことが想定される。(マイナビ)

Q.8)

講演の中で、8月と12月に内定のピークがあると語られたが、一企業内で2度のピークがあるのか、それとも企業全体の内定のピーク時がふた山になるのか？

A.8)

企業によって異なるため、両方と言える。準大手・中小企業は採用活動を続ける傾向(マイナビ)

Q.9)

講演の中で、企業のリクルーター活動の増加が語られたが、“どこの企業がどんな風に行っているのか”という情報は表向きには出てこないと思われる。この点に関して、OB・OGの情報収集等、対応する予定は？

A.9)

- ・対応していきたい。(就職支援室長)
- ・新カリ科目の「キャリア教育」でも活かしていきたい。(教育支援室長)

Q.10)

講演の中で、就活の期間短縮が学生の就活意識の低下をもたらす危惧について語られた。この点を防ぐために、インターンシップ以外の何か良い特効薬はないか？

A.10)

身近な教員が、学生に進路や働くことに関する話をする機会を増やすことがよいのではないだろうか。就活をできれば先延ばしにしたいなど、働くことを前向きにとらえていない学生が多い。社会に出ることの意味や働きがいなどを含め、学生が就活に前向きになる話を、身近な教員がすることが必要。(マイナビ)

Q.11)

就職して3年経たずにやめてしまう学生が増えていると聞く。対応策は何かないか？

A.11)

・スキルアップなどの前向きな離職はかまわない。しかし、“こんなはずじゃなかった”といった思いや、人間関係の悩みでやめているケースに対していえば、就職説明会に参加するだけでなく、OB・OG訪問などで、当該企業で実際に働いている人に、どんな所でどんな仕事をしているか実際に話を聞くことが大事。最近では、内定後のOB・OG訪問も有り。(マイナビ)

- ・業種と離職率の関係など、早期離職の本学学生の解析を進めている。(就職支援室長)

Q.12)

本学の就職支援室で行っている具体的な就職相談の内容は？

A.12)

・エントリーシートや履歴書の書き方の指導から、企業の募集状況やOB・OGの様子などの情報提供の他、ハローワークなどの就職の専門家に直接に学生の相談を受けてもらっている。(就職支援室長)

・学務課就職支援係では、週3回程度、ハローワークの方をお呼びしている。就活がうまくいかずに悩んでいる学生には、エントリーシートのコピーを持ってくる等、具体的な相談にのっている。悩んでいる学生がいたら、就職支援係へ。(学務課就職支援係)

平成26年度 第2回FD研修会実施要項

1. 日時：平成26年9月29日（月） 16：30～18：00
2. 場所：講義棟大講義室
3. 目的：3ヶ月後ろ倒しになる就職活動への対応など就職戦線の最新の情報について、大学全体で情報を共有し今後の学生の就職支援に活かすことを目的とする。
4. 対象：全教員
5. スケジュール
司会：小池 正徳 教授

16：30～16：40
開会挨拶 長澤 秀行 学長

16：40～16：55
講演「社会から求められる畜大生とは？」
柳川 久 就職支援室長

16：55～17：35
講演「就職活動開始時期の3ヶ月後ろ倒しにかかる対応・影響ほかについて」
株式会社マイナビ 就職情報事業本部
キャリアサポート部 柳井 章 氏

17：40～18：00
質疑応答
司会：小池 正徳 教授
書記：耕野 拓一 准教授、平館 善明 准教授

第2回FD研修会

『社会から求められる畜大生とは』 —就職支援室員の役割について—

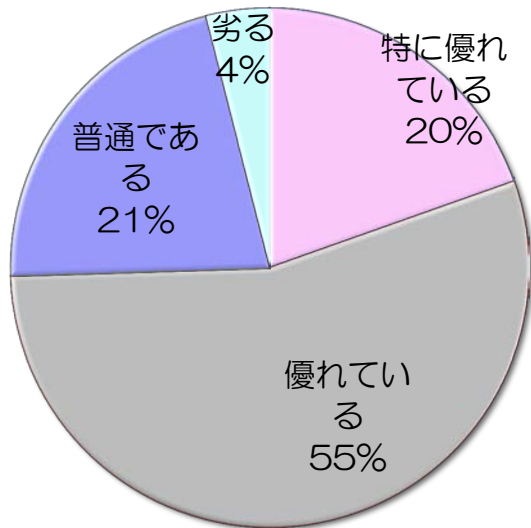
平成26年9月29日

就職支援室長 柳川 久

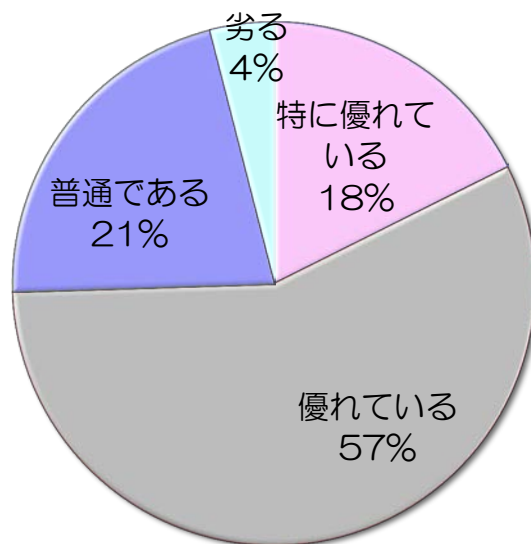
目次

- I 卒業生・修了生アンケート集計結果
～結果から読み取る畜大生の傾向
- II 就職支援室員の役割
～就職相談は支援室員に お・ま・か・せ
- III 学生の就職活動支援
～学生の就職活動を無理なく持続させるために

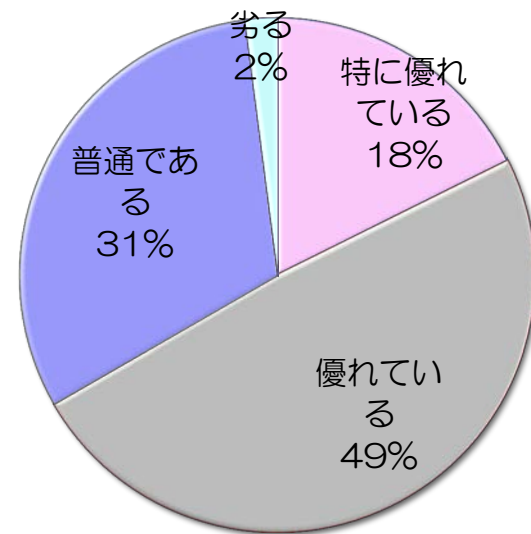
I 獣医学課程 アンケート集計結果



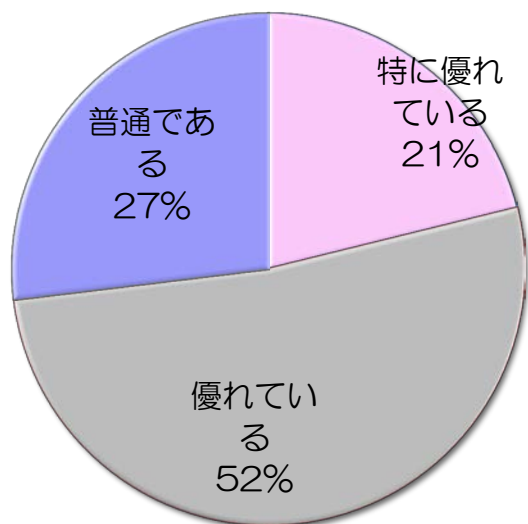
自己表現力



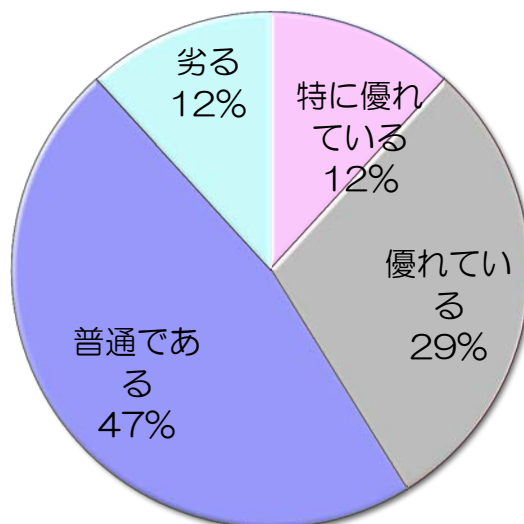
コミュニケーション能力



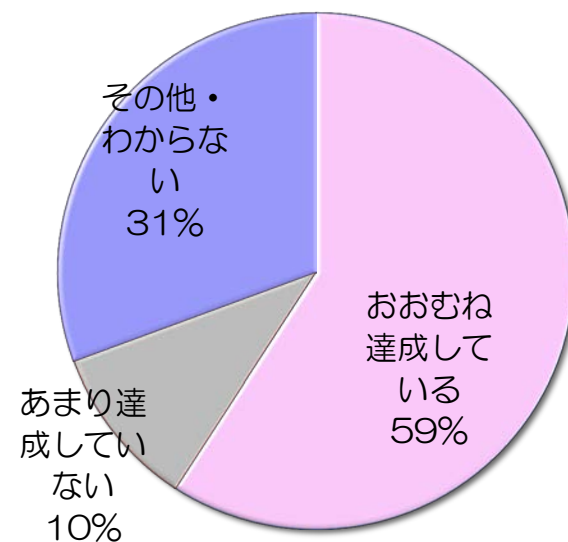
一般教養



専門分野



英語の能力



教育目標の達成

求められる能力

コミュニケーション能力

- ・ 飼い主のみならず、動物の立場で考える

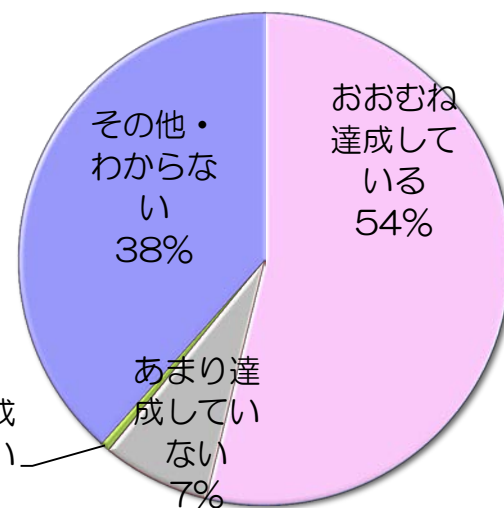
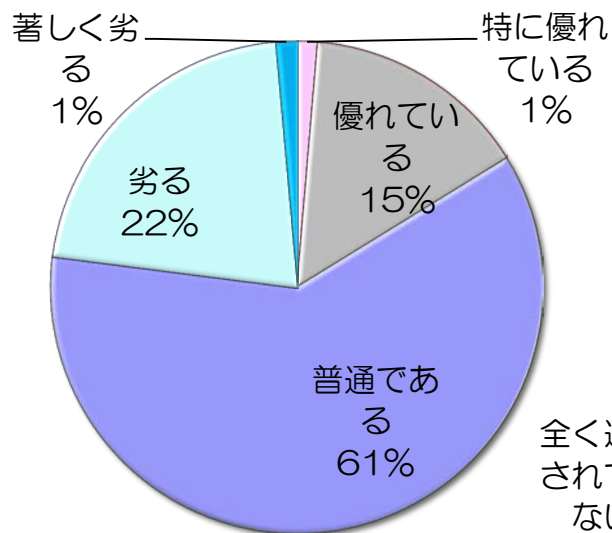
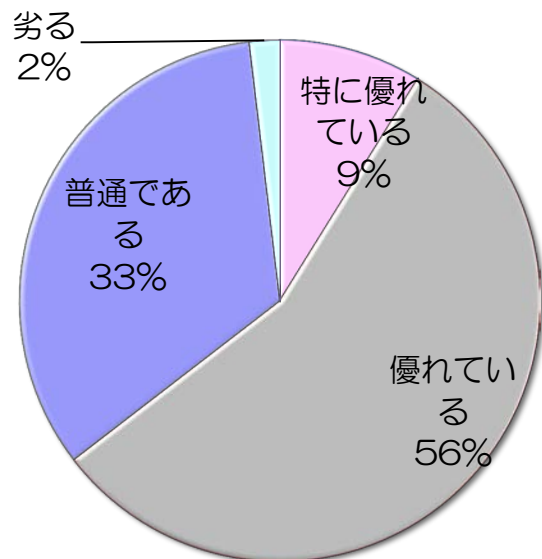
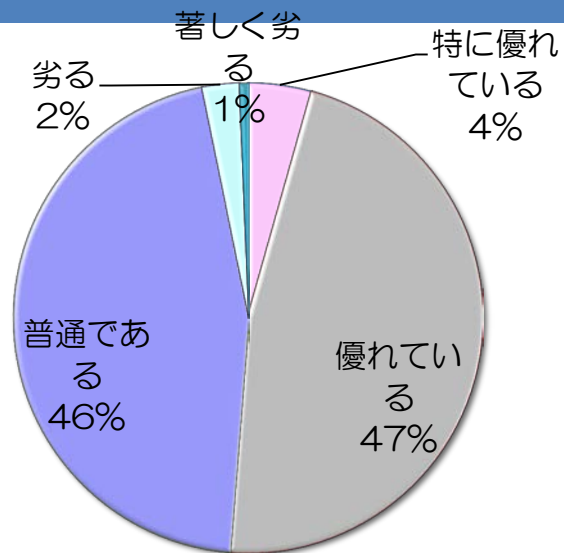
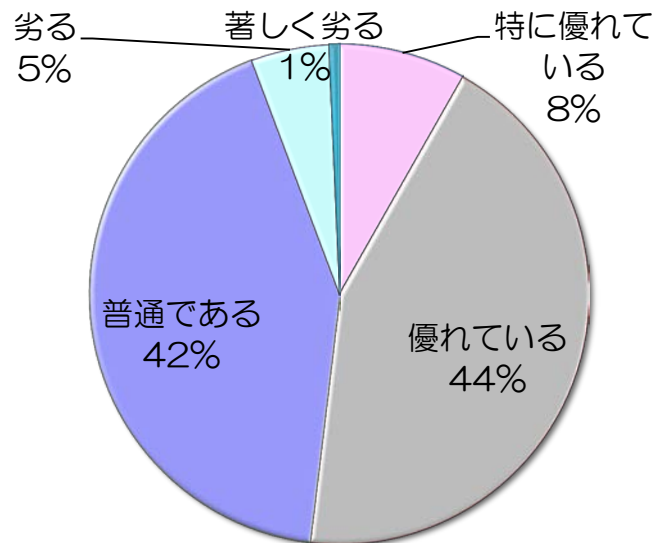
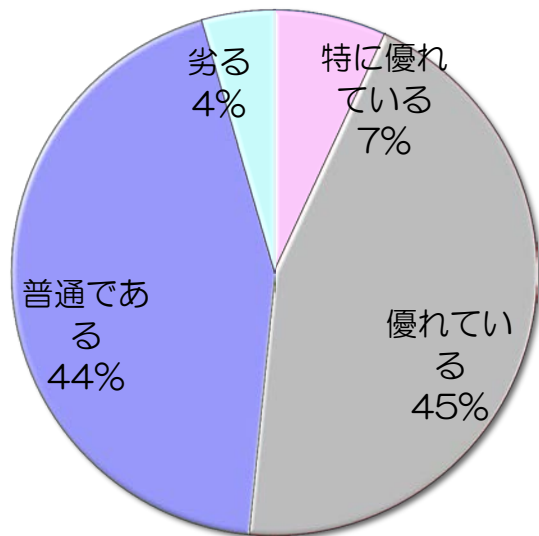
好奇心

- ・ 既存の仕事だけではなく、常に新しいことへ挑戦

向学心

- ・ 専門知識は日々新くなる

I 畜産科学課程 アンケート集計結果



専門分野

英語の能力

教育目標の達成

求められる能力

コミュニケーション能力

- ・ ホウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)

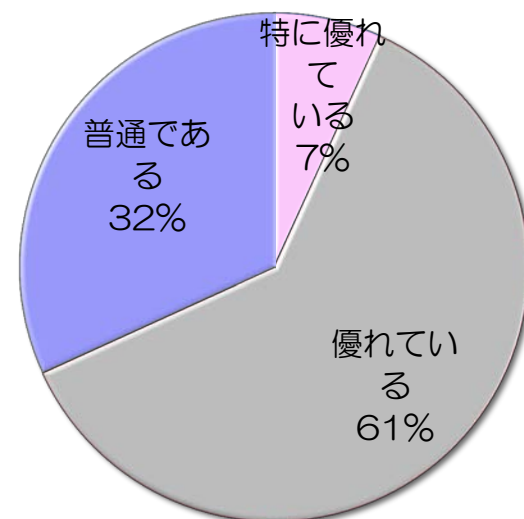
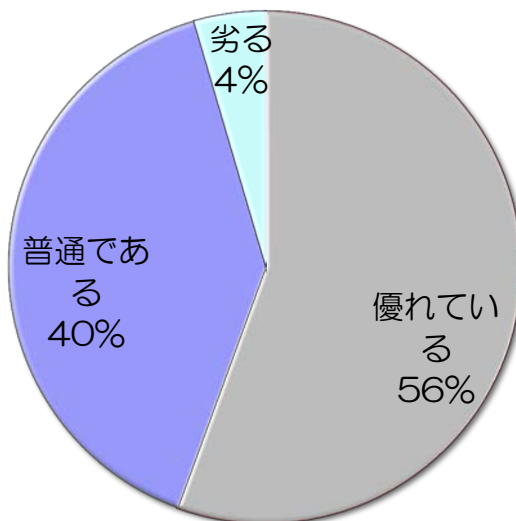
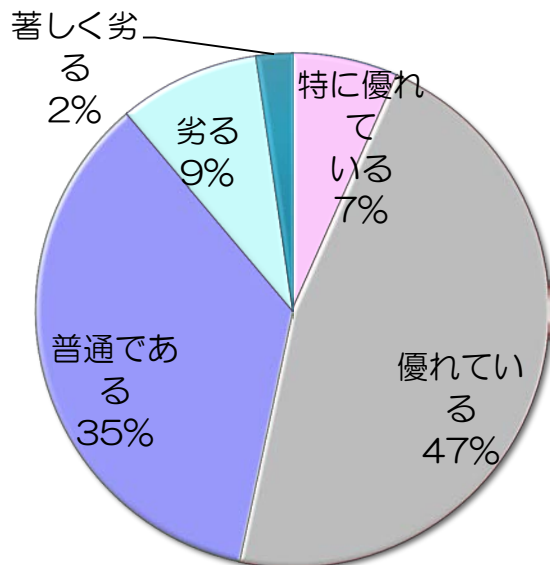
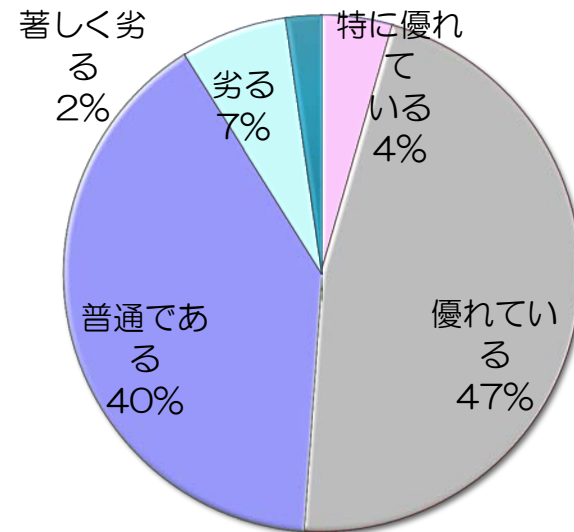
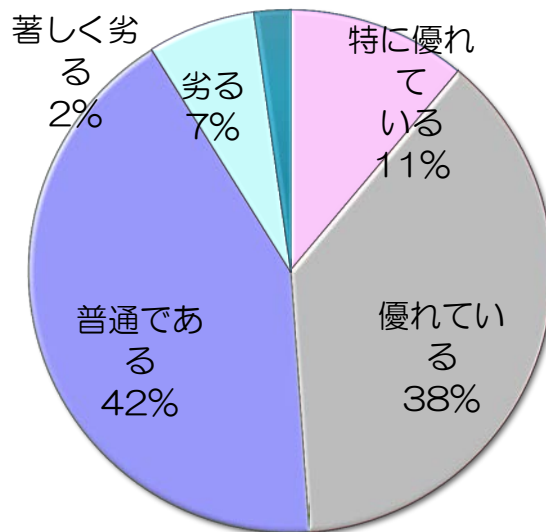
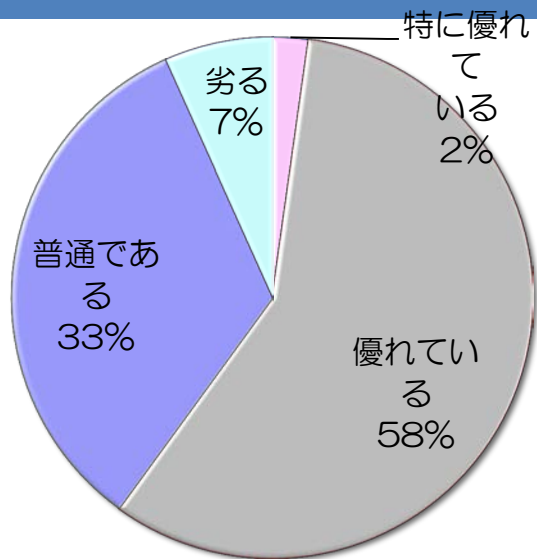
好奇心

- ・ 既存の仕事だけではなく、常に新しいことへ挑戦

忍耐力

- ・ 諦めない、投げ出さない

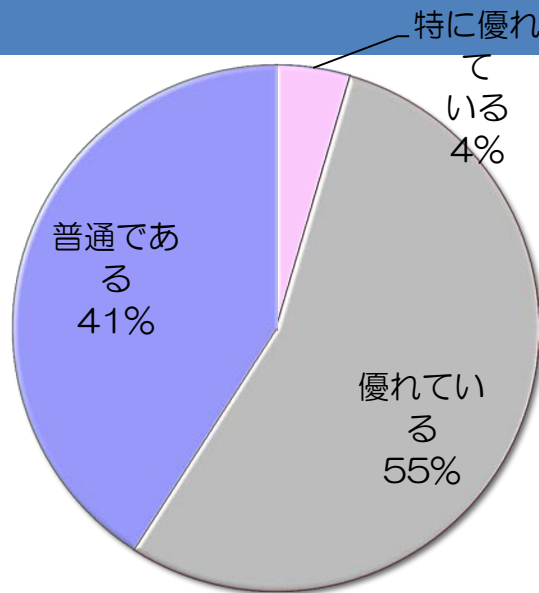
I 大学院修了生 アンケート集計結果



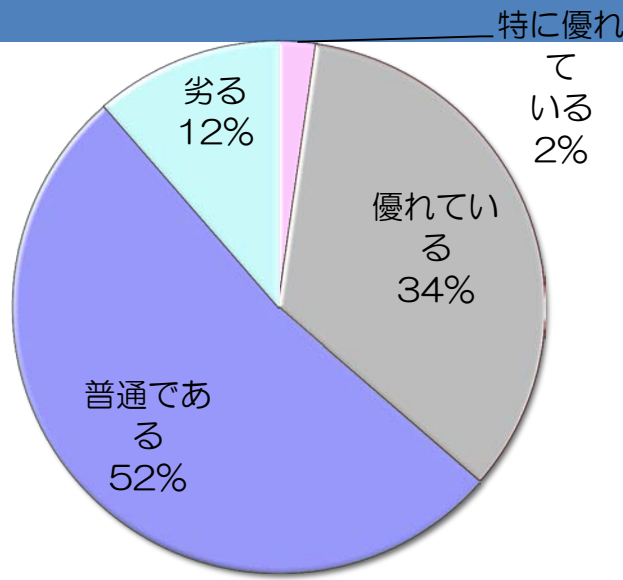
自己実現力

問題解決力

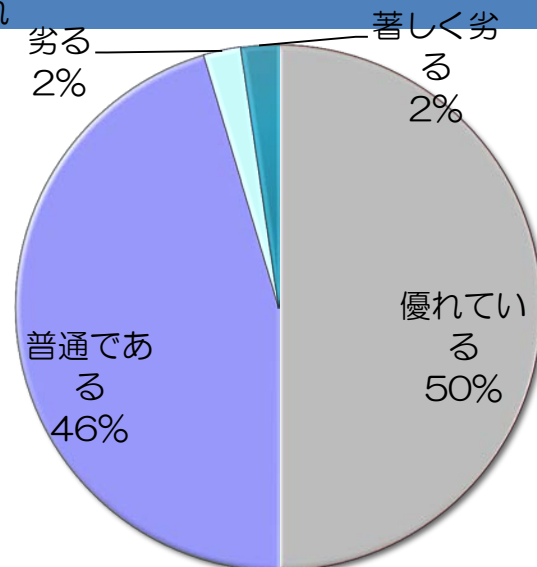
専門分野の知識



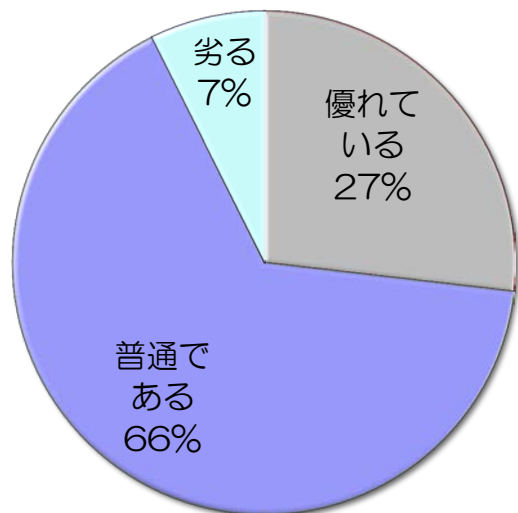
専門分野の技能



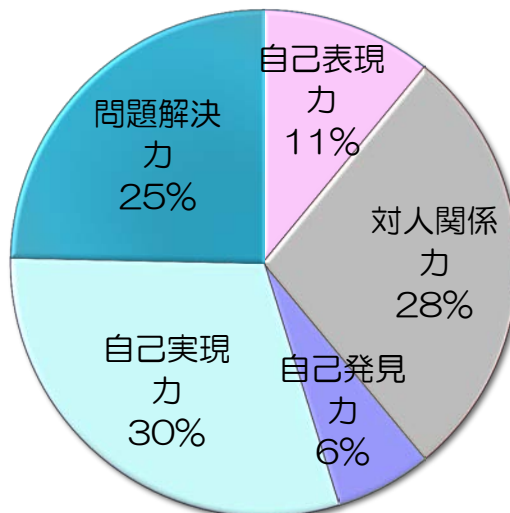
社会的常識



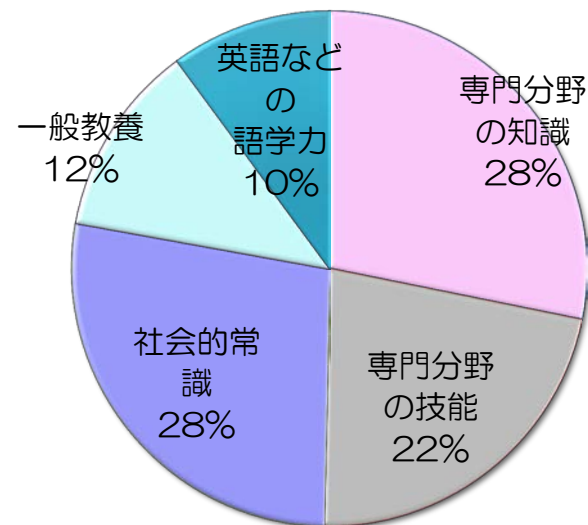
一般教養



英語などの語学力



期待するキャリア形成



期待する専門性・教養

求められる能力

コミュニケーション能力

- ・ 上司・同僚だけではなく、顧客の立場で考える

探究心

- ・ 常に新しい視点を持つ

忍耐力

- ・ 精神力と体力の両方を磨く

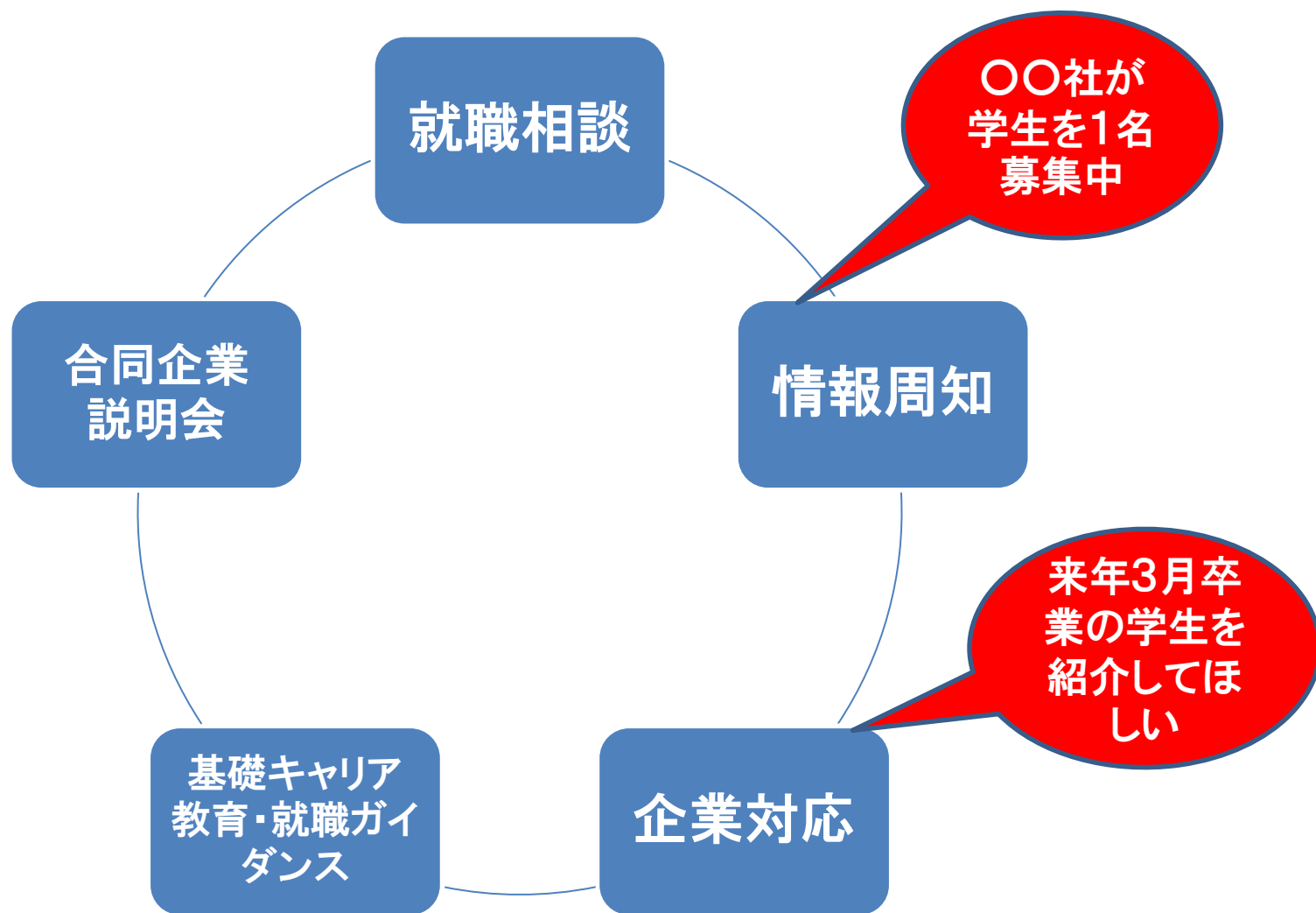
社会常識力

- ・ 組織で働く上での心構え、ビジネスマナー

Ⅱ 就職支援室員の役割

～就職支援相談は支援室員に お・ま・か・せ

就職支援室



Ⅲ 学生の就職活動支援

～学生の就職活動を無理なく持続させるために

就職支援室



学務課向かいにあります。就職情報・就職相談などしています。

ご清聴ありがとうございました。